

(様式1)



## 報道資料

令和 3年 4月13日

1 件名	大内氏館跡周辺マップの作成について
2 日時	令和3年4月19日
3 場所	大内氏館跡池泉庭園 他
4 内容	<p>国指定史跡「大内氏遺跡附凌雲寺跡」のうち、大内氏館跡（山口市大殿大路）の散策マップを作成いたしました。大内氏遺跡館跡池泉庭園などに、当該マップを配置しておりますので、史跡の散策の際に、ご利用ください。</p> <p>配置場所：史跡大内氏館跡 池泉庭園（山口市大殿大路地内） 大路ロビー（山口市下堅小路115-3） 十朋亭維新館（山口市下堅小路112） 山口ふるさと伝承総合センター（山口市下堅小路12番地） 山口市菜香亭（山口市天花一丁目2番7号） 大殿地域交流センター（山口市大殿大路120番地4）</p> <p>設置日時：令和3年4月19日（月）～</p> <p>発行：山口市教育委員会文化財保護課 作成：NPO法人大路小路まち・ひとづくりネットワーク（大路ロビー）</p>
5 出席者	
6 問い合わせ	山口市教育委員会 文化財保護課 大内文化財担当 TEL 083-920-4111





### 3号庭園

## 枯山水庭園

出土した石組を使用し、築庭当時とほぼ同じ状態で復元されています。  
大内義隆との交流が確認されている京の大徳寺大仙院の枯山水庭園（現存）に似ているとも。館の南東に位置する池泉庭園が「公的」空間であるのに対して、枯山水庭園の一角は「私的」空間であったとする説もあります。

R3.5月以降  
完成予定

八坂神社

# 大内氏館跡周辺MAP

## 土塁

大内館に土塁、空堀が整備されたのは14世紀後半以降。土塁の高さは約1m程度でその上には塀（築地塀もしくは板塀）がめぐらされていました。

※発掘調査後に埋め戻されています。  
1500年代前半に造営された枯山水庭園と推定。



元は興隆寺（大内氏の氏寺）の釈迦堂で、明治に移築され、現在は室町時代の姿に復原。

4号庭園

## 石組かまど・せ人列建物

池泉庭園と同時期の施設です。台所のような場であったと考えられています。さらにその西側には、館の蔵と推定される建物跡が見つかっています。

※発掘調査後に埋め戻されています。  
1400年代終わり頃に廃絶と推定。枯山水など形状も不明。

ソテツ

当時は極めて希少。海外交易による大内氏の繁栄を象徴。

## 西門

発掘調査では柱を据えた穴などを確認。館の西側外郭はさらに現在の竪小路に近い位置にあったと考えられ、敷地内の区画を分ける内門だったと考えられています。

## 石組み水路

16世紀前半のものとする石組み水路を修復したものです。水路として機能していた当時は、西門を内門として、館はさらに西側に広がっていたと推定されています。

左右主柱の間隔は約4.5mあり、西国有数の規模。

※発掘調査後に埋め戻されています。

1号庭園

1400年代終わり頃に廃絶と推定。枯山水など形状も不明。  
※発掘調査後に埋め戻されています。

2号庭園

## 池泉庭園

15世紀終わり頃の作庭で、当時の形状をそのまま残す形で発掘されました。平安時代の浄土庭園のような古風な景観を示しています。池の南東側には庭の観賞用とも考えられる建物跡も。

## 大路ロビー

大殿エリアのまち歩きの拠点。大内氏館跡周辺めぐりはここからどうぞ。

臨時P

大殿地域交流センター

龍福寺参道

龍福寺山門

竪小路

大殿大路